

外食ニュース

経営者レポート

フードリンクレポート

ぶっちゃけどうよ？

お店を知る

毎日が月曜会

アジア

U-10 | 外食リーダーレポート

RSSフィード 公式twitterアカウント 公式facebookページ

TOP > 飲食店経営者レポート > 神戸から郷土活性化で上場へ！「土佐清水ワールド」がヒット中。

## 経営者レポート

経営者レポートトップに戻る



2018年2月21日 (水) 12:44

**神戸から郷土活性化で上場へ！「土佐清水ワールド」がヒット中。**

河野圭一氏 株式会社ワールド・ワン 代表取締役

このページを印刷

記事への評価

★★★★★ 4.7

B! 0

ツイート

ええやん! 7

取材・執筆：西尾明彦 2018年2月21日

キーワード：[ワールド・ワン](#) [土佐清水ワールド](#) [幡多ハル](#) [河野圭一](#)

“食によって、郷土と地域をつなぎ、ニッポンの風景を熟くする”。郷土と地域をつなぐ郷土活性化企業を標榜し、地元神戸を中心に24店舗を展開する株式会社ワールド・ワン。昨年は「土佐清水ワールド」での東京進出など、過去最多7店舗の新規出店を果たした。2020年の株式上場という大きな目標に向けて邁進する。



東京初出店、17年7月オープン「土佐清水ワールド 東京上野店」。オープニングセレモニーには、土佐清水の生産者の方々や土佐清水市長、当時の農林水産大臣、前水産庁長官たちが応援に駆けつけた。

「地域活性化というミッションは変わりませんが、店舗展開していくうちに、ビジョンがぼやけた時期もありました。プレずに推し進めていくことで、定まってきました」と語る株式会社ワールド・ワン 代表取締役の河野圭一氏。



1号店である「沖縄料理modern食堂 金魚本店」は、02年2月の創業から16年続く繁盛店。まだ神戸では沖縄料理の認知度が低かったなか、当時から産地と交流を深め、産地直送に取り組み、お客様に情報発信することで、徐々にファンを獲得していった。

1ヶ月無料

会員限定  
**プレミアム記事**

登録はこちらから



### メールマガジン登録(無料)

月曜～金曜の毎日、フードビジネスの最新情報を配信しています。

## 記事ランキング

プレミアム記事

ニュース



4.7点

立飲みレモンサワー専門店が急増！フットジェニックスワーが色々。



5.0点

全国100店舗化へ猛進！新業態「原価ピストロBAN！」逆転の発想。



5.0点

「一風堂」、海外にアクセル踏む。日本で出店することに何の意味があるのか。

4

4.3点

恵比寿「おじんじょ」から見えるレモンサワーの創造性。

5

4.7点

「博多うどん酒場 イチカバチカ」のレモンサワーが注目される理由。

ランキングをもっと見る

## 最新のコメント

- ▶ [すごいサービス！！！学生時代にあったらなあ…！ \(by kadtotsu\)](#)
- ▶ [いっぺん、食べに行きたいです。入店したいと思いません。\(by 木村 明\)](#)
- ▶ [ぐちゃぐちゃ、情報の質も疑われる \(by テント\)](#)
- ▶ [スカスカ \(by え\)](#)
- ▶ [「パー・アンブラグ」修正しておいてください。\(by 門司恒星\)](#)

[PR]



「ゴーヤチャンプルー」(580円)

以後、沖縄に特化した店舗を中心に、年に1~3店の出店ペースで店舗展開を進め、産地の地域ブランディングにも取り組んできた。

6次産業化を目指す飲食企業が増えてきた中、ワールド・ワンが進めるのが、産地とワイン・ワインな共存共栄を目指す、共に長期的に持続可能な関係作り。地域との連携協定はその成果の一つ。



土佐清水市との連携協定によるアンテナショップ、15年6月にオープンした「土佐清水ワールド本店」

「土佐清水市との出会いは、ブームやトレンドだからではなく、土佐清水市の商工会の方とのご縁がきっかけです」

関係構築のため、何度も土佐清水を訪れては生産者との信頼を深め、既存店では土佐清水フェアを4度開催。お客様の反応はどうか、綿密なテストマーケティングを行い、3年かけて出店にこぎつけた。



16年3月オープンの「土佐清水ワールド 生けすセンター」の大水槽。

土佐清水市から神戸まで活魚車で生きたまま届けられる、独自の流通ルートを確認。これにより、鮮度が命の清水サバが毎週火曜と金曜に直送され、活け造りで提供できるようになった。

▶ [【外食ゴルフ2017】写真公開①](#)

▶ [【外食ゴルフ2017】写真公開②](#)

▶ [【外食駅伝2016】写真公開しました!](#)

▶ [【外食駅伝2016】タイムはこちらから!!!](#)

▶ [フードリンクニュース 編集者募集中!](#)

▶ [【フードリンクニュース】ライター募集!!! 気になった方は、ぜひクリック!!!](#)

編集局員 募集中

外食ライター 募集!!!

フードリンクニュース  
11,489 「いいね!」の数

Foodrink News Lovers

「いいね!」済み

詳しくはこちら

あなたと他友達35人が「いいね!」しました

日本ワイン Matsuri 祭  
6,396 「いいね!」の数

第4回 日本ワインMATSURI!  
at 日比谷公園 噴水広場  
2018年4月13日(土)~4月15日(日)

このページに「いいね!」

シェア

友達3人が「いいね!」しました

みんなの日本酒  
335 「いいね!」の数

このページに「いいね!」

シェア

友達2人が「いいね!」しました

ウチの看板娘・息子  
181 「いいね!」の数

このページに「いいね!」

シェア

友達2人が「いいね!」しました



17年10月にオープンした「土佐清水ワールド幡多バル 高知本店」。幡多地区6市町村との連携協定により、土佐清水市、宿毛市、四万十市、三原市、大月町、黒潮町の豊富な食材を扱うバル業態。

「同じ県内でも、高知市と西部にある幡多地区は距離的に遠いので、高知市民でも行ったことがない人も多くいます。高知市内にアンテナショップがどうしても必要でした」



幡多地区の食材をふんだんに使った「幡多タパス盛り合わせ」。バルメニューの監修は、東京・神楽坂の人気スペインバル「バルメニコ」のオーナーシェフ、今村真氏（土佐清水市出身）



17年4月にオープンした青森県との連携協定店「青森ねぶたワールド 三宮生田新道店」。店内には本物のねぶたが飾られている。



「青森鮮魚の大ねぶた盛り」(ワールド・ワン会員2980円/一般価格3680円)



「青森ねぶたワールド」で大間マグロの解体ショーを行った際には、青森県の三村知事(左)が来店し、解体ショーのMCを務めた。



郷土の音楽を体感してもらうために、同店で月1回不定期に開催される津軽三味線ライブ。

The cover of the magazine 'WORLD ONE PRESS' No. 059, January 2018. The top half is red with white text. The bottom half features a landscape photo of a mountain range at sunrise or sunset. The text on the cover includes '神戸・三宮 ワールド・ワングループ', 'WORLD ONE PRESS', 'クーポン付き', '[ワールド・ワンプレス] 2018.01 NO.059', '2018 あけましておめでとうございます', '新年ご挨拶・お年玉プレゼント・ランチ特集・年末年始イベント・物産展・トピックスなど', and '謹賀新年'. There are also social media icons for LINE, Facebook, and Twitter at the bottom.

販促ツールとして始めた会員向けの月刊会報誌『WORLDONE PRESS』は、より地域や生産者の思いを伝え、「この食材を食べたい、ここに行ってみよう」となるような読ませるツールとして進化中。各地の食材を紹介するページや、土佐清水市の観光商工課職員による「土佐清水だより」もある。

「生産者のキャパシティやフェーズに合わせて、出店ベースやメニュー構成を考えています。1店舗ごとに魂を込めて店作りしています」と語るように、小規模生産者も多いため、需要と供給のバランスを取りながらの出店となる。

漁港からは、魚種や量を指定せず、漁港側の裁量でその日に獲れた魚を直送。現地では魚の廃棄によるロスを解消でき、お客様は、都会ではお目にかかれない珍しい新鮮な魚介類をリーズナブルな価格で楽しめる。



生産者を招いて郷土の産物の即売会も各店舗で行っている。写真は幡多地区の生産者の方々と。

実際に現地を訪れたり、店舗に来られる生産者と交流したり、双方コミュニケーションを大切に、売り手と買い手の立場を超えた関係づくりができるようになると、スタッフの意識や行動が大きく変わったという。

「食材の背景にある産地の風土や文化的な魅力、生産者の想いを知ること、現場スタッフはお客様に商品価値をきちんと伝えようと、仕事の意義を理解して行動するようになりました」

「産地のことをもっと知りたくて、東京のアルバイトスタッフが、自発的に土佐清水市を訪問したと聞いたのは嬉しかったですね」



株式会社ワールド・ワン本社にて。代表取締役の河野圭一氏。

経営ビジョンがスタッフに浸透することで結束力が高まり、同じベクトルで、深い部分まで共有できるチームとなったため、スピード感も早まった。構築を進めているのが、独自の6次産業プラットフォーム構想だ。

「地域の夢と一緒に背負い、一致団結し、地方に貢献する。ローカルtoローカルから、世界を目指したいですね」

「地域活性化に共感してくださる交流の輪は、行政機関や金融機関、学生など、垣根を超えて、あらゆる方面に広がってきました。株式上場の目的は、マネーゲームではなく、地方を熱くしていく人の輪をもっと大きくしたい。そのため手段です」

今年も東京出店の予定があり、可能なら昨年程度の出店ベースと、更なる快進撃が続くようなワールド・ワン。地方と地域をより熱く盛り上げてくれそうだ。

#### ■株式会社ワールド・ワン

兵庫県神戸市中央区下山手通2丁目13番3号 建創ビル7階

TEL : 078-333-8883

<http://www.world-one-group.co.jp/>

B! 0

ツイート

ええやん! 7

## 関連記事

人気の記事

おすすめの記事

1 全国100店舗化へ猛進！新業態「原価ピストロBAN！」逆転の発想。

2 「一風堂」、海外にアクセル踏む。日本で出店することに何の意味があるのか。

3 20代女性起業家の挑戦。働く女性を応援する健康志向のフィッシュバーガー専門店「SALUSA...